

国道127号防災対策について

令和2年3月18日

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所

目次

1. これまでの検討委員会の確認内容.....	1
2. 今回委員会の審議内容.....	4
3. 今後の進め方.....	8

1. これまでの検討委員会の確認内容

1.これまでの検討委員会の確認内容

令和2年2月14日開催 令和元年度 国道127号防災対策検討委員会

委員からの主な意見

- ・ 本年度発生した台風・大雨による一連の道路被害により、地域からの道路防災対策の要望が依然として高いことを確認。
- ・ 国道127号防災事業全体としても、大規模災害発生時の孤立集落解消や緊急物資の円滑な輸送のため、整備優先度の高い箇所から遅滞なく実施していくことが重要。
- ・ 特に南無谷トンネル、小浜トンネルは防災機能向上の観点から整備優先度が高いため早期に事業を進めていくこと。
- ・ 城山トンネルについては、活線拡幅のパイロット事業であることに鑑み、早期に実施可能な箇所より進めていくこと。
- ・ 引き続き、公共工事におけるコスト縮減を継続しながら取り組んでいくこと。
- ・ なお、内房地域の防災力強化のため、必要な事業については、引き続き検討を行う。

令和2年3月6日開催 令和元年度 第2回 国道127号防災対策検討委員会

委員からの主な意見

- ・ 国道127号防災対策事業において、整備優先度が高い南無谷トンネル、小浜トンネル、城山トンネルについて、今回確認された対策工法に基づき、遅滞なく事業を進めていくこと。
- ・ 引き続き、公共工事におけるコスト縮減を継続しながら取り組んでいくこと。
- ・ なお、内房地域の防災力強化のため、必要な事業については、引き続き検討を行う。

・令和元年9～10月の台風・大雨の気象観測データ

■ 令和元年9月～10月の台風・大雨

令和元年台風15号

令和元年9月9日5時前に千葉市付近に上陸。関東地方を北東に進み、9日9時には海上に抜けた。

関東南部で風速30m/s以上の猛烈な風を観測。館山市では最大瞬間風速48.8m/s、最大風速28.4m/s(観測史上1位の値を更新)を観測。1時間50ミリ以上の非常に激しい雨を観測。鋸南町では合計212.5ミリの雨を観測。

令和元年台風19号

令和元年10月12日19時前に伊豆半島に上陸、関東地方を通過。

関東甲信地方で広範囲の大雨を観測。

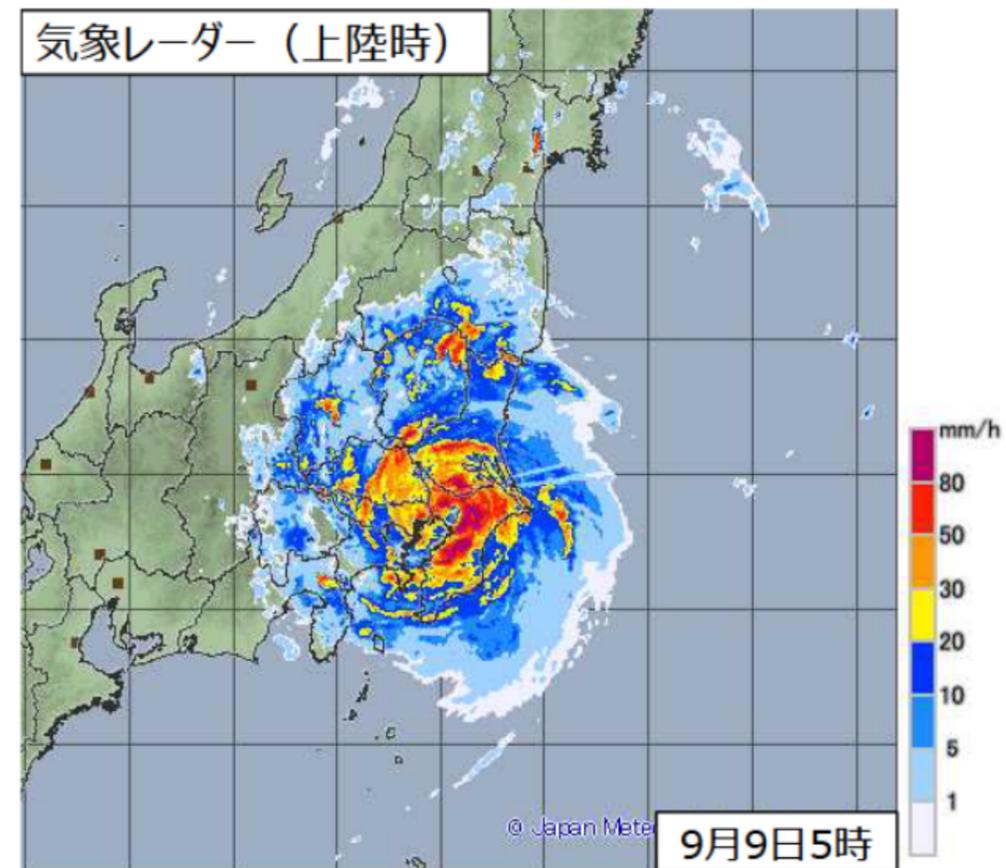
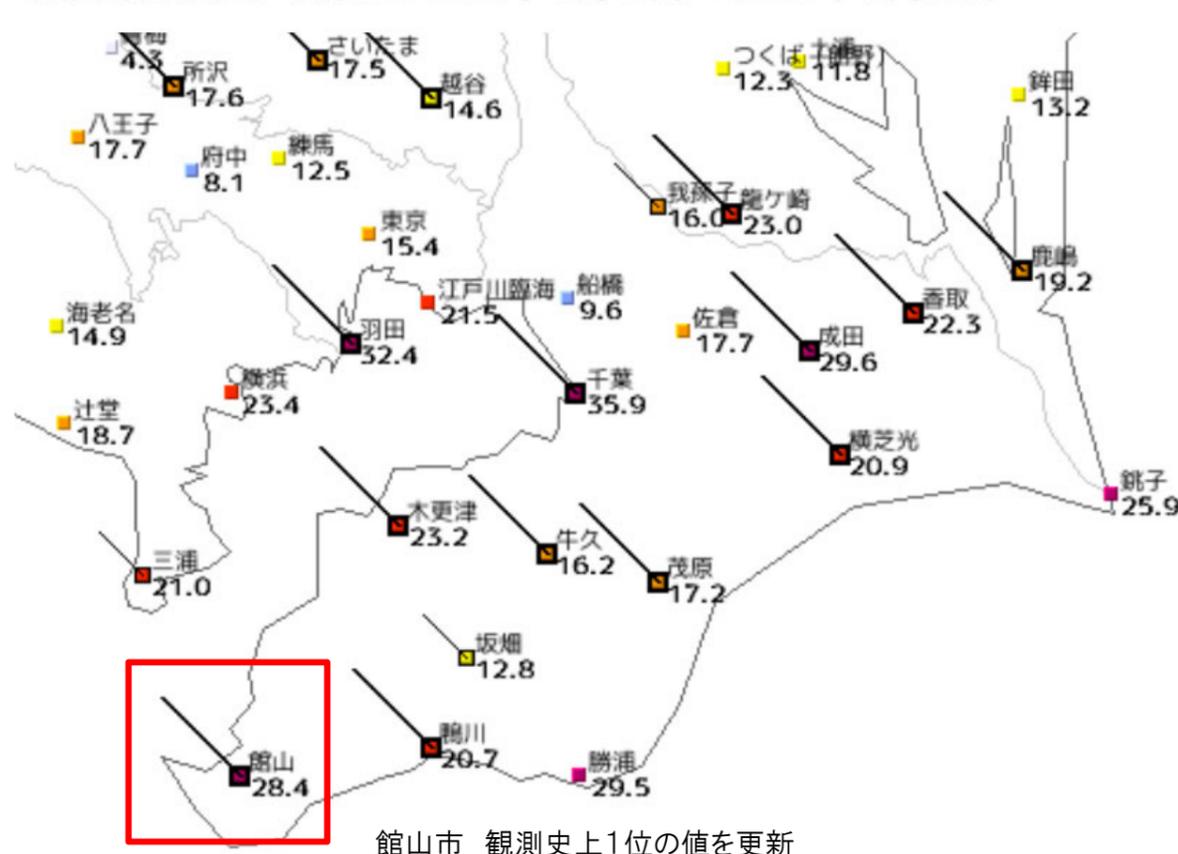
令和元年低気圧等(台風21号)による大雨

令和元年10月24日から26日にかけて低気圧が西日本、東日本、北日本、太平洋沿岸に沿って進んだ影響で、千葉県や福島県を中心に大きな被害が発生。

※「最大風速」は10分間の平均風速の最大値、「最大瞬間風速」は瞬間風速の最大値

令和元年台風15号

期間最大風速 期間：2019年9月7日～2019年9月9日



1. これまでの検討委員会の確認内容

令和2年2月14日
第1回国道127号防災対策検討委員会資料再掲

- ・令和元年9～10月の台風・大雨により、千葉県内では甚大な被害が発生し、通行止めが多発。
- ・内房地域では、東関東自動車道館山線が通行止めになる中、国道127号は支援物資輸送等の被災地支援において、重要な役割を担った。
- ・しかし、国道127号は、老朽化が進んだ狭小なトンネル、橋梁が存在することから、防災ネットワーク確保に懸念。



写真：台風被災時に、国道127号を利用して支援物資を輸送(R1.9.10)
左から館山市危機管理室長、館山市長、千葉国道事務所木更津出張所長

東関東自動車道館山線
千葉県内房地域を結ぶ唯一の
1次指定緊急輸送道路（高速）

国道127号
千葉県内房地域を結ぶ唯一の
1次指定緊急輸送道路（国道）

国道127号
東関東自動車道館山線が通行止めになる中、被災地支援のため重要な役割を担う

東関東自動車道館山線
9/9-9/10 強風等により
全面通行止め
(県内最長約33時間)

- 凡例**
- ⊗ : 台風15号
 - ⊗ (紫) : 台風19号
 - ⊗ (青) : 台風21号
 - ⊗ (緑) : 2回規制
 - ⊗ (赤) : 3回とも通行止 (事前規制)



台風21号④君津市鹿野山～富津市稲子沢



台風15号⑦君津市大野台地先



台風15号②南房総市富浦町居倉地先



台風15号⑨南房総市犬掛地先



台風15号④館山市船形地先

■ 令和元年9～10月台風・大雨による
周辺道路の通行止め状況

台風15号	
番号	路線名
①	(国)410号
②	(一)犬掛館山線
③	(一)小櫃佐貫停車場線
④	(一)館山富浦線
⑤	(一)外野勝山線
⑥	(主)久留里鹿野山湊線
⑦	(主)久留里鹿野山湊線
⑧	(国)410号
⑨	(一)犬掛館山線
⑩	(一)上畑湊線

台風19号	
番号	路線名
①	(国)410号
②	(一)小櫃佐貫停車場線
③	(国)410号
④	(主)鴨川保田線
⑤	(主)君津鴨川線
⑥	(一)外野勝山線
⑦	(主)久留里鹿野山湊線
⑧	(一)小櫃佐貫停車場線

台風21号	
番号	路線名
①	(国)410号
②	(一)小櫃佐貫停車場線
③	(一)荻作君津線
④	(一)小櫃佐貫停車場線

2. 今回委員会の審議内容

■今回委員会の審議内容

これまでの検討委員会において意見を頂いている「内房地域の防災力強化のため、必要な事業の検討」として東関東自動車道館山線富浦IC以南の4車線化の必要性について確認を行う。

川名・富浦地区（館富トンネルを含む延長約1km区間）の4車線化

2.今回委員会の審議内容(富浦IC以南の地域防災力強化の必要性)

- ・近年の大災害から得られた教訓と今後講ずるべき施策等を検討するため、「道路の耐災害性強化に向けた有識者会議」により、「道路の耐災害性強化に向けた提言」(R1.7)において回復力・復元力のある構造として原則4車線化が示されている。
- ・内房の安房地域における防災拠点は東関東自動車道館山線富浦IC以南に集中、国道127号が唯一の1次指定緊急輸送道路に指定されている。
- ・千葉県地域防災計画において緊急輸送港湾施設に位置付けられている館山港から、緊急物資等の輸送や避難者の海上輸送を円滑に行うため、館山港と防災拠点とを結ぶ道路ネットワークの形成が必要。また、内房の安房地域における災害拠点病院は館山市にある安房地域医療センターのみであり、南房総市や鋸南町など広域的に救急搬送を行う必要があることから、ボトルネックとなっている川名・富浦地区の暫定2車線区間の4車線化が必要。

◆道路の耐災害性強化に向けた提言 R1.7.9 国土交通省

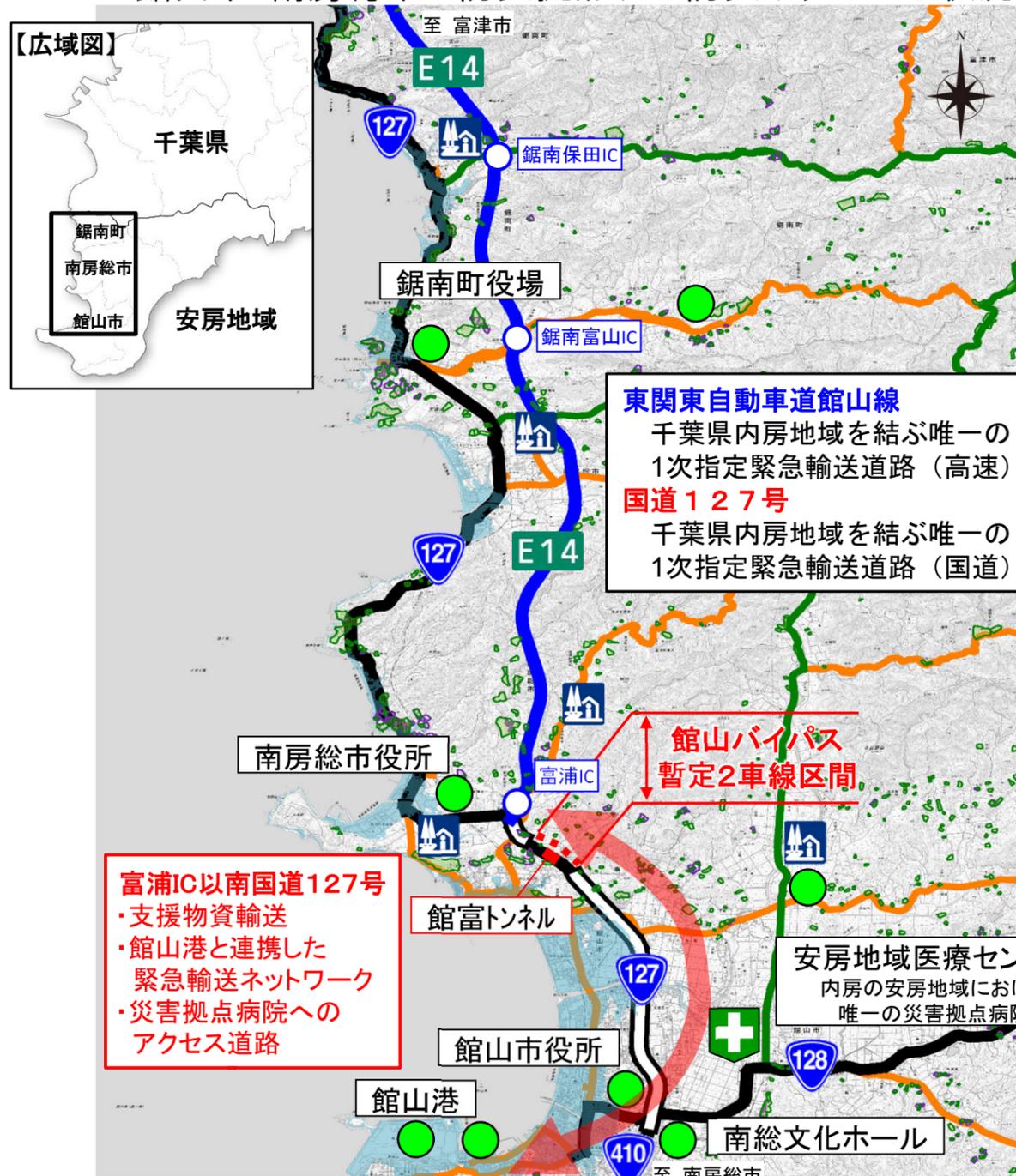
災害に配慮した道路構造令等の見直し

これまでは経済性を優先するあまり、災害や大事故などの非常時に対する対応能力を減殺する結果を生じさせてきた。災害時には道路に一定の欠損が生じることを前提として、災害に配慮した整備水準へと見直す必要。

例)

- 2車線の道路の路肩を従来よりも拡幅
- 救急車等の緊急車両のための緊急入退出路を設置
- **回復力・復元力のある構造として原則4車線化**
- 緊急車両の駐車・停車機能強化のための道の駅やSA・PA等の容量拡大

■館山市・南房総市の防災拠点及び防災ネットワーク状況



凡例	
---	対象区間
---	高速道路
---	一般国道
---	主要地方道
---	一般都道府県道
---	車線数 (2/4/6車線)
---	津波浸水想定区域
---	急傾斜地崩壊危険箇所
---	土砂災害警戒区域

凡例	
●	防災拠点
+	災害拠点病院
+	地域防災計画に位置付けられら道の駅

館富トンネル別線計画位置



■近年の地域防災計画等の策定状況

千葉県	千葉県版くしの歯作戦 (H28.10)
千葉県	千葉県地域防災計画 (H29年度修正)
館山市	館山市地域防災計画 (H31.3)
南房総市	南房総市地域防災計画 (H31.3)

■地域防災計画(館山市)

第11節 防災施設の整備
 1. 防災拠点施設等の整備
 (2)千葉県南総文化ホールは、館山自動車道に接続する国道127号の起点に位置し、物資の集積・配布拠点にできていることから、地域防災拠点としての整備を図る。

2. 今回委員会の審議内容

安房地域への支援物資輸送、館山港と連携した緊急輸送ネットワークとして、地域防災力強化のために、防災ネットワークの強化が重要となることから、川名・富浦地区について、別線計画による4車線化(約30億円)を行う。

■ 国道127号防災対策事業

従来の事業費 198億円

国道127号防災対策事業に必要な事業費 約228億円(今回の事業費増を含む)

事業費については引き続き、コスト縮減を検討

3. 今後の進め方

今後の防災対策の進め方

安房地域への支援物資輸送、館山港と連携した緊急輸送ネットワークとして、国道127号は重要な役割を担っていることに鑑み、現在2車線の川名・富浦地区（館富トンネルを含む延長約1km区間）については、国道127号防災事業にて4車線化を早期に着手していく。

今後、対策工法等の変更が生じた場合は、引き続き対策工法等の検討及び確認を実施する。

■ 事業中の17トンネル4橋梁 → 18トンネル4橋梁

127号防災の事業位置図

